

採点基準 数学（文系）

【共通事項】

1. 約分の未了，根号内の整理不備は 1 点減点
2. 分母の有理化の不備については減点なし
3. 別解の配点は解答の配点に準ずる

【文系】（100 点満点）

第 1 問（24 点満点）

- (1)（配点 8 点）
 - ア～ウの答えに 8 点（ア 4 点、イ、ウ 各 2 点）
- (2)（配点 8 点）
 - エ～カの答えに 8 点（エ 2 点、オ、カ 各 3 点）
- (3)（配点 8 点）
 - キ～ケの答えに 8 点（キ、ク 各 2 点、ケ 4 点）

第 2 問（16 点満点）

- (1)（配点 8 点）
 - ア、イの答えに 8 点（各 4 点）
- (2)（配点 8 点）
 - ウ～オの答えに 10 点（ウ、エ 各 2 点、オ 4 点）

第 3 問（16 点満点）

- (1)（配点 8 点）
 - ア、イの答えに 8 点（各 4 点）
- (2)（配点 8 点）
 - ウ～カの答えに 8 点（ウ～オ 完答 4 点、カ 4 点）

第 4 問（30 点満点）

- (1)（配点 9 点）
 - ア～クの答えに 9 点（ア～エ 完答 2 点、オ、カ 完答 2 点、キ 2 点、ク 3 点）
- (2)（配点 6 点）
 - ケ～セの答えに 6 点（ケ～サ 完答 3 点、シ～セ 完答 3 点）
- (3)（配点 6 点）
 - $a_{n+1} - c_{n+1}$ を a_n 、 c_n で表して 3 点
 - $a_n - c_n$ を n で表して 3 点

(4) (配点 9 点)

- $a_{n+1} + c_{n+1}$ を a_n 、 c_n で表して 2 点
- e_{n+1} の漸化式に 2 点
- $a_n + c_n$ を n で表して 2 点
- a_n を n で表して 3 点

第 5 問 (30 点満点)

(1) (配点 9 点)

- $f(x)$ を k を用いて表して 2 点
- $f(x)$ の方程式を求めて 4 点
- $g(x)$ の方程式を求めて 3 点

(2) (配点 4 点)

- $y = |f(x) - g(x)|$ のグラフを図示して 4 点

(3) (配点 17 点)

- $F(4)$ の式から絶対値記号を外して 2 点
- $F(4)$ の値を求めて 3 点
- $0 \leq t \leq 4$ のとき $F(t) = 48$ を満たす t は存在しないことを示して 4 点
- $t > 4$ のときの $F(t)$ の式に 2 点
- $F(t)$ の値に 2 点
- 方程式を計算して t の値を求めて 2 点
- 条件式を満たす t の値を求めて 2 点

第 6 問 (30 点満点)

(1) (配点 9 点)

- ア～ウの答えに 9 点 (各 3 点)

(2) (配点 5 点)

- 円周角の定理から線分 BD の長さを求めて 5 点

(3) (配点 16 点)

- $\triangle EAB \sim \triangle ABC$ を示して 3 点
- AE の長さを求めて 3 点
- DE の長さを求めて 5 点
- 四角形 $ABDC$ の面積を求めて 5 点

第 7 問 (30 点満点)

(1) (配点 10 点)

- $X = 4$ となる確率を求めて 4 点
- $X = -2$ となる確率を求めて 6 点

(2) (配点 20 点)

- 赤玉、青玉を 1 回ずつ、白玉を 2 回取り出す確率を求めて 6 点

- 赤玉を 1 回以上取り出し、 $X=0$ となる確率を求めて 6 点
- $X=0$ となる確率を求めて 2 点
- $X=0$ かつ赤玉を取り出す回数が偶数である確率を求めて 2 点
- $X=0$ のとき、赤玉を取り出す回数が偶数である条件付き確率を求めて 4 点